

会員募集

高階南マジッククラブ

当クラブは、平成9年に高階南公民館で開催された「ボランティア養成講座」が母体であります。

マジックを通して明るく住み良い地域社会づくりに貢献すべく、日夜研鑽を積んでいます。

ボランティア活動に関心をお持ちの方、マジックに興味のある方、是非ご入会をお待ちしております。

- ◆会費 一か月 1500円 入会金 なし
- ◆定例会 毎月第2、4火曜日 午後7時～9時 (高階南公民館)
- ◆問い合わせ 平澤 090-3432-3709



.....お知らせ.....

- ※ 平成30年6月22日(金)施設とビューローの意見交換会を予定しています。施設へのご意見、ご要望など、ビューロー南までお知らせください。
- ※ ビューロー南では、車椅子の貸し出しを行なっています。使用する方が川越市内在住。期間は最長3ヶ月までとなっており、無料です。詳しくはビューロー南までお問い合わせください。

.....経過報告.....

H29.4.1~H30.3.31

ボランティア登録者(個人)	66名
ボランティア登録者(団体)	38団体
ボランティア派遣者(延べ人数)	2058名
車椅子貸し出し	18件

※上記以外にも
定期ボランティアとして4600余名(延べ人数)が活動されました。



川越市社協のキャラクター
3
福っくらちゃん

ボランティアビューロー南

〒350-1151 川越市今福1295-2

川越南文化会館内(電話・FAX 248-0737)

開室日: 月・水・土曜日 午前10時~午後3時

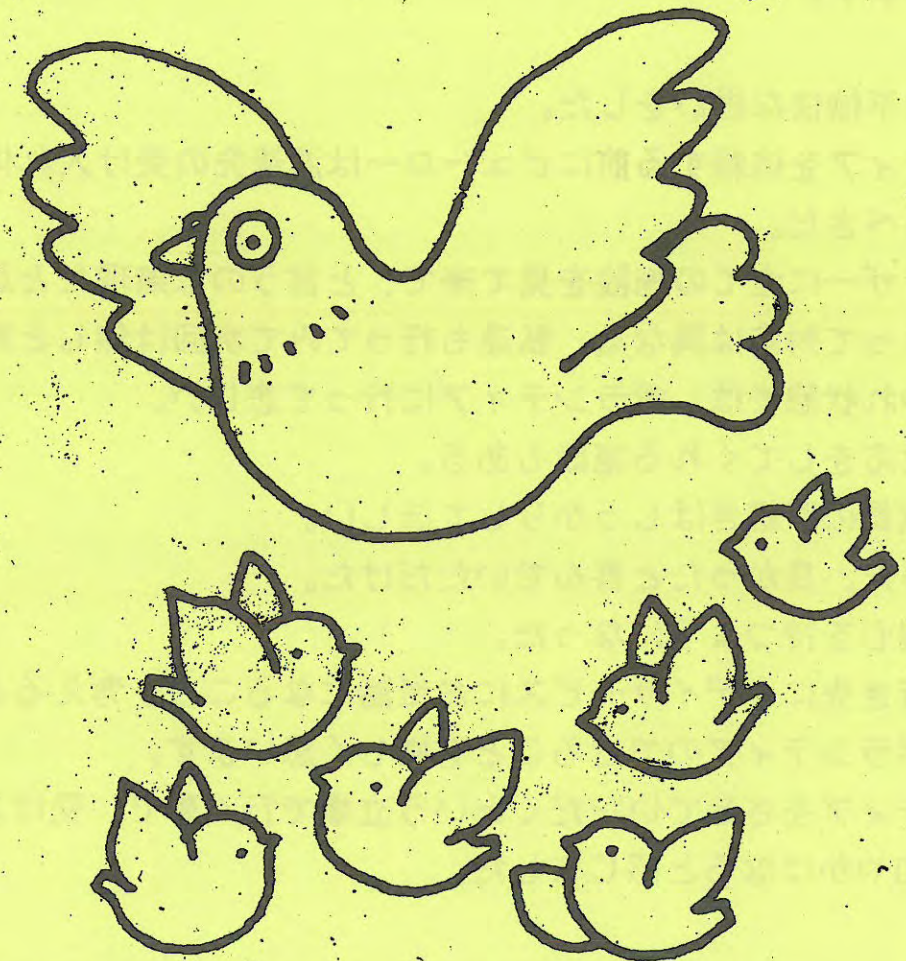
ボランティア

第91号

ビューロー

だより

2018.4.25



社会福祉法人川越市社会福祉協議会

ボランティアビューロー南(川越南文化会館内)

ビューロー南登録ボランティア交流会

平成30年2月23日（金）登録ボランティア24名、社協事務局1名、アドバイザー5名の参加により、「ビューロー南登録ボランティア交流会」を開きました。

それぞれの自己紹介、日頃の活動で感じた事等の意見交換に続き、活動披露として「高階みすじ会」様の三味線の演奏、伴奏により、皆で歌をうたい、和やかな雰囲気の中に散会となりました。

今回は出席された方にアンケート（活動で良かった事、残念だった事・・・記述式）をお願いしました。

交流会で出た意見、アンケートに記されていた意見を含めて、ごく一部ですがご紹介します。

- ・派遣先で不愉快な思いをした。
- ・ボランティアを依頼する前にビューローは派遣先の受け入れ体制をきちんと把握するべきだ。
- ・アドバイザーに全ての施設を見て来て、と言うのは無理だと思う。
- ・施設によって対応は異なる、私達も行ってみて次回は無しと断ることもある。
- ・勝手にやれ状態では、ボランティアに行って悲しい。
- ・温かい対応をしてくれる施設もある。
- ・施設の職員の引継ぎはしっかりしてほしい。
- ・楽しかった、良かったと喜んでいただけた。
- ・福祉に関心を持つようになった。
- ・自分の行き先にもデイサービスにお世話になることを考えると、この様な居場所でボランティアのできることを嬉しく思います。
- ・ボランティアをさせていただくという立場で行く事で、受け入れ側の態度、言動が和やかになると感じました。

※いただいた御意見をふまえ、アドバイザー一同、皆さまのボランティア活動がスムーズに行えるよう、努めていきたいと思っております。
今年度も宜しくお願い致します。

ボランティア交流会に参加して

高階みすじ会

駒井 照子

私達は平成29年5月にボランティアビューロー南さんに登録させて頂きました。

主に日本民謡の三味線の勉強をしている仲間です。

登録してまだ日が浅いため、訪問先も4か所のみです。交流会の参加も初めてでございます。

皆様のお話をお聞きして、いろいろな立場の方が親身になってボランティアをなさっている様子に感銘を受けました。

また首をかしげる様な内容の話をしている方が見受けられましたが、永い間携わっていると大変な場面に出合うことがあるのでしょうか。

初心をわすれず、おごらず、何かにお役にたてればという気持ちを忘れず、努めたいと思っております。

どうぞ宜しくお願い致します。



厚生労働大臣賞をいただいて

男の料理 会長 首藤 晏

昨年秋、表記のビッグな賞をいただきました。

長年にわたり、ボランティア活動を通じて地域社会づくりに貢献した事が認められたものです。

諸先輩方の努力、ビューロー南や公民館、その他関係者の御支援並びにご協力の賜物です。

振り返れば、男の料理は平成7年にグループが結成され、料理実習開始。翌年ボランティア活動もスタートしました。

当時、男性だけのボランティアグループは市内にはありませんでした。

力仕事等に特化して、障害者施設などを中心に道を拓きました。

最盛期にはメンバーも25人を数えました。

今はメンバー数も減りましたが（15人前後）派遣数は年間延べ500人前後です。

「継続は力なり」20有余年の努力が中央省庁に認められました。

今後も驕ることなく

関係者の皆さんの御支援、ご協力を賜り、料理とボランティアの2本柱で精進したいと思います。